

エコツーリズム戦略の策定の目的

誰が見ても目標（将来像）がわかるものをみんなで策定し、活用しようとするもの

- ・世界遺産地域としての統一的な枠組み、連携を図る。
...横断的な課題（例えば安全・リスク管理、野生生物の観察方法・距離感など）についても整理を図る。
- ・観光資源でもある知床の自然の価値・魅力を維持する、向上させる。
- ・知床の自然を観光資源として利用し、その価値を享受できるようにする。

戦略を作成することにより...

統一的な枠組みによる連携 共通の方向を目指した取り組みへ
地域でのルールに基づいた知床の利用 知床の自然の保全へ
観光（利用）の多様化、商品付加価値 地域経済の発展へ

そのためには...

現状の課題の解決及び知床の価値の向上のために、地域の様々な意見を受け入れ、かつ、自然の保全に配慮している知床の活用のあり方を考える。

<例えば>

利用拡大の面からは...

・原生的な自然をトレッキングしたい 可能になれば利用者に提供可能な範囲が広がる 現在の計画では制限がある、利用に関する記載がない ワークショップ、検討会で検討 戦略に位置付ける 具体的なルールの策定・利用 自然を保全しながら経済発展へつながる（必要に応じて、既存計画等を見直す）...

保全強化の面からは...

・登山やトレッキング 登山道の荒廃の拡大 現在の計画では制限ができない ワークショップ、検討会で検討 戦略に位置付ける 具体的なルールの策定と保全の強化 原生的な自然環境を提供することで経済発展につなげる...